



手紙 の本

精華町立図書館

☎0774-95-1911

もくじ

- 1.「はるかぜのホネホネさん」
- 2.「あかいぼうしのゆうびん屋さん」
- 3.「島のゆうびん屋さん」
- 4.「おてがみであいましょう」
- 5.「ぽすくまです！」
- 6.「おまじないのてがみ」
- 7.「こっそり おてがみ」
- 8.「おてがみほしいぞ」
- 9.「もりのゆうびんきょく」
- 10.「ゆうびん・手紙のひみつをたんけん！」
- 11.「サウスポー」
- 12.「だいすきな先生へ」
- 13.「ねこの郵便屋さん」
- 14.「お手紙レッスン」
- 15.「絵てがみだいすき」
- 16.「知ってる？郵便のおもしろい歴史」
- 17.「郵便局員ねこ」
- 18.「鍵の秘密」
- 19.「あしながおじさん」
- 20.「お星さまをみつめて」
- 21.「氷菓」
- 22.「紙の心」

☆ここで紹介している本は^{しょうかい}精華^{ほん}町^{せい}立^ち図書館^{りつとしょかん}にある本です。

☆☐のなかは^せ背^きラ^{ごう}ベ^{ほん}ルの^{ほん}記^{ぼし}号^{しめ}です。本がある場所を示しています。

『はるかぜのホネホネさん』

にしむら あつこ さく

福音館書店

この本がある場所

… エホン1 ニシ

(にほんのえほん)



ホネホネさんはゆうびんやさんです。今日もギコギコキ
ーツとじてんしゃをこいではいたつします。森のみんなの
てがみには、川くだり大会や入学式、お茶会に花粉症と
いった春の話題がもりだくさんです。そして、毎日がんば
るホネホネさんにもガールフレンドのホネ子さんからうれ
しいてがみが…。

『あかいぼうしのゆうびん屋さん』

ルース・エインズワース さく

福音館書店



この本がある場所

… エホン2 エイ

(がいこくのえほん)

にわにすむ どうぶつや とりたちは てがみのやりとりを
したいとおもい なかまのなかから ゆうびんやさんを えら
ぶことに きめました。りっこうほした こねこと りすと こ
いぬは かわりばんこで ゆうびんやさんに なってみるこ
にしましたが だれも うまくいきません。そこで えらばれ
たのは？

しま 『島のゆうびん屋さん』

いしづ
石津 ちひろ ぶん

理論社

ほん
この本があるばしょ

… エホン1 イシ

(にほんのえほん)



なみこさんはあさごはんがすむと、じてんしゃでみなとにむかいます。ドツ ドツ ドツとふねがとうちゃくすると、しまのそとへおくる てがみやにもつと、しまのひとたちに とどいたものをこうかんします。なみこさんは、しまのゆうびん屋さんです。

すいすいと じてんしゃのペダルをこぎ、うたをうたいながらしまめぐり。せっせと てがみ、しんぶんやこづつみをくばります。しまのみんなのたのしみを、えがおのなみこさんが きょうもげんきにおとどけします。

『おてがみであいましょう』

きむら
木村 いこ 作

理論社

この本があるばしょ

… エホン1 キム

(にほんのえほん)



くまのマルちゃんは、^う生まれたときからおばあちゃんといっ
しょにくらしていましたが、^ひ引っ越しをして今ははなればなれ
に。^{いえ}家が遠いのでなかなか会えません。そんなとき、おばあ
ちゃんから^{はこ}箱いっぱいのおまけが^{とど}届きます。さっそくお
母^{かあ}さんに、りんごパイを^{つく}作ってもらったマルちゃんは、「おばあ
ちゃんとおしゃべりしながら^た食べたいな」という^き気持ちを、
手紙に^{てがみ}書くことにしました。^{おお}大きなりんごパイを^{かみ}紙いっぱい
に^{えてがみ}書いた絵手紙を郵便ポストへ。さて、おばあちゃんからの^{へんじ}返事
は^{とど}届くのでしょうか。

『ぽすくまです！』

さかい おさむ
坂井 治 ぶん

白泉社

この本があるばしょ

… エホン1 サカ

(にほんのえほん)



もり なか
森の中のゆうびんきょくではたらいっているくまのぬいぐるみの
ぽすくまは、きょうも森のみんなにゆうびんぶつをとどけに行
きます。おとどけさきはパンやさんやぎゅうにゅうやさんなど、
さまざま。たくさんのゆうびんぶつをとどけおわるころには、あ
ちこちでゆうごはんのじゅんびがはじまっていたました。おなかが
ぺこぺこのぽすくまはいそいでかえるのですが、おうちの中には
た
食べるものがない！そんなとき「そくたつで一す」ととどいたも
のとは…。みんなのやさしいきもちがつたわる、おてがみをも
らってうれしくなるえほん絵本です。

『おまじないのてがみ』

あかはね
赤羽 じゅんこ 作

文研出版

この本がある場所

… F アカ

(にほんのよみもの)



ゆずは 柚葉はとおくにくらすおばあちゃんと夏休みのあいだを
なつやす
いっしょにすごし、おまじないのつくりかたをおしえてもら
いました。へんてこで いみがめちゃくちゃで いいやすいお
まじないをとえると、いろんなことがふしぎとうまいく
のです。ある日、かなしいできごとにおちこんでいた柚葉に
おばあちゃんからてがみがとどきます。そこには、ゆうきの
でるおまじないがかかれていました。

さあ、あなたもいっしょにおまじないをとえてみませんか？

『こっそり おてがみ』

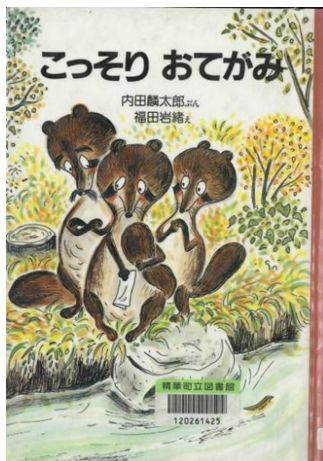
うちだ りんたろう
内田 麟太郎 ぶん

草土文化

この本がある場所

… Fウチ

(にほんのよみもの)



「友だちがほしいのに、口をきくのがとてもはずかしい」。という思いをしたことはありませんか？そんな思いをしているのが、ある山の小川のほとりにくらす3びきのたぬきたちです。同じ山にくらしているのに、たずねていったことも、口をきいたこともなかったのです。ある日、中流に住んでいるたぬきは手紙を書くことを思いつきます。ささ舟にのせて小川に流したのですが、なかなか返事は返ってきません。しかしうれしい日はとつぜんやってきました。なんと川上から手紙が流れてきたのです。

その内容とは…。3びきのたぬきたちはお友だちになれるのでしょうか。

『おてがみほしいぞ』

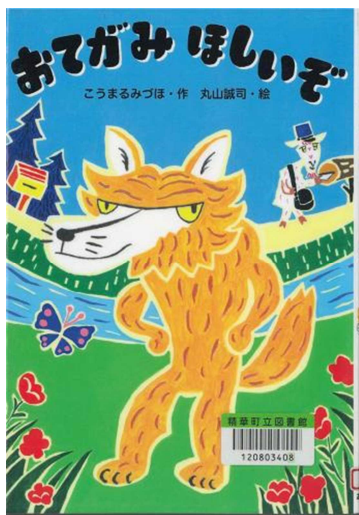
こうまる みづほ 作

あかね書房

この本がある場所

… F コウ

(にほんのよみもの)



オオカミのギロンが川で 魚 釣りをしていると、川の向こう側
を、赤い自転車に乗り、青い帽子をかぶったヤギが、郵便配達を
しているのが見えました。てがみをもらった動物たちは大喜び。
一度もてがみをもらったことがないギロンは、どうしたらてがみ
をもらえるのかキツネにたずねます。「だれかにてがみをかいて
はどうですか。そしたらへんじがもらえますよ」と言われますが、
ギロンには友だちがいません。そこで、自分で自分にてがみを書
けばいいのだと思いつきました。ところが、てがみを出したのに
いつまでたっても届きません。さて、無事にギロンのてがみは届
くのでしょうか。

『もりのゆうびんきょく』

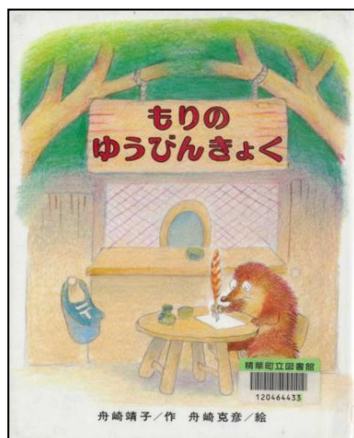
ふなざき やすこ
舟崎 靖子 作

偕成社

この本がある場所

… **F**フナ

にほん
(日本のよみもの)



もりのゆうびんきょくのはりねずみさんは、まいにちポストのゆうびんをあつめて、ゆうびんきょくでスタンプをおし、おうちへはいたつにまわります。

あるひ、はりねずみさんは、おひるのサンドイッチのなかにはいっていたてがみに^き気づかず、うっかりたべてしまいます。のこったのは、ふうとうのうらにかかれた「や」のもじ。「や」がつくのは、やぎさん？やまあらしさん？やまばとさん？もういちどてがみを^か書いてもらおうと、きいてまわりますが…。

もりのなかまたちのくらしのようすもたのしいおはなしです。

『ゆうびん・手紙^{てがみ}のひみつをたんけん！』

スギヤマ カナヨ 文

偕成社

この本がある場所^{ほん ばしょ}

… 693

(しらべもの)



自分^{じぶん}あてのはがき、カードや手紙^{てがみ}がとどいたら、うれしくなり

ますね。返事^{へんじ}を書きたいけれど、どうやって書いたらいいの？

この本はそんな疑問^{ぎもん}を解決^{かいけつ}してくれます。はがきや封筒^{ふうとう}の書き方^{かた}

や切手^{きって}のこと、ゆうびんの歴史^{れきし}や手紙^{てがみ}がとどくまでのしくみがわ

かります。さらに、全国^{ぜんこく}の郵便局^{ゆうびんきょく}が持っている風景印^{ふうけいん}というく

べつなスタンプについても紹介^{しょうかい}されています。きっとみんなも

手紙を書いてみたくなることまちがいなしです。

『サウスポー』

ジュディス・ヴィオースト 作

文溪堂



この本がある場所

… エホン2 ヴイ

(がいこくのえほん)

口に出しては言えないことでも、^{もじ}文字にしてみると^{すなお}素直になれることがあります。^{はんたい}反対に文字にすることで、つい言いすぎてしまうことも。

ジャネットは^{やきゅう}野球チームに^は入りたいとリチャードに^{つた}伝えますが、リチャードはぜったいに^い入れたくないようす。ほかにもちょっとした^い行きちがい^きがでふたりは^き気まずくなってしまう。しかし、^{てがみ}手紙のやり取りをするうちにふたりはだんだん素直になっていき…。

『だいすきな先生へ』

デボラ・ホプキンソン 文

評論社

この本がある場所

… エホン2 ホプ

(外国の絵本)



なにげないいたずらなどで怒られたり、悲しい思いをしたことがある「わたし」。小学生の時のわたしは落ち着きがなかったり、こまったことばかりしている子どもでした。でも先生はしかることなく、やる気が出るようにいろんなことを考えてくれました。2年生最後の日には一年間の思い出を絵にして先生にプレゼントしました。

大人になった「わたし」が、先生に向けて書いた一通の手紙。

先生に伝えたいことって何だったと思いますか。

『ねこの郵便屋さん』

なかむら しょうこ
中村 翔子 作

佼成出版社

この本がある場所

… **Fナカ**

(日本のよみもの)



息子夫婦が外国へ転勤してしまい、さびしい思いをしているお
じいさんとおばあさんのもとへ、ある日一匹のねこがまよいこん
できました。二人はそのねこをミルクと名付け、かわいがって
いましたが、気まぐれなミルクはすぐにどこかにいってしまいます。
そこで二人はミルクの首に手紙をつけてみることにしました。す
ると、かわいらしい文字で返事が届いたのです。

ねこが手紙を運んでくれたことで始まった、本当にあった心
温まる物語です。

『お手紙レッスン』

D.J.ルーカス 作

あすなろ書房

この本がある場所

… **N グリ**

(外国のよみもの)



マックスが作家のルーカスに出した一通のファンレターがきっかけとなり、少年と作家の文通が始まります。

ルーカスは、学校で嫌な思いをしているマックスを励ましたり、作家になりたいマックスにお話を書く手ほどきをします。そしてそんなルーカスも、想像力豊かなマックスからアイデアをもらったり刺激を受けていきます。

文通を重ねる中で少しずつ二人がどんな人物なのかわかっていくのも楽しいところです。ゆっくりと友情が深まっていくのと同時に二人の創作も進んでいきます。さてどんなお話ができあがるでしょうか。読み終えたとき、あなたは、あ！とこの本の秘密に気がつきますよ。

『^え絵てがみだいすき』

つちや としこ
土屋 淑子 作

岩崎書店

この本がある^{ほん}場所^{ばしょ}

… 727

(しらべもの)



ともだち てがみ
友達から手紙がとどくと、とってもうれしいですね。こと

ばだけでなく^え絵まであれば、もっと^{たの}楽しくなりますよね。

絵てがみは、ハガキと^か描くものがあればかんたんにでき
るんです。クレヨンや^{えのぐ}絵具で色をつけたり、スポンジや^{やさい}野菜
の^き切れはしなどを^{つか}使うのも、いつもとちがうおもしろい絵が
描けますよ。楽しいアイデアがつまっているこの本^{ほん}を^よ読んで、
あなたも絵てがみ^{つく}を作ってみませんか。

『知^しってる？郵便^{ゆうびん}のおもしろい歴史^{れきし}』

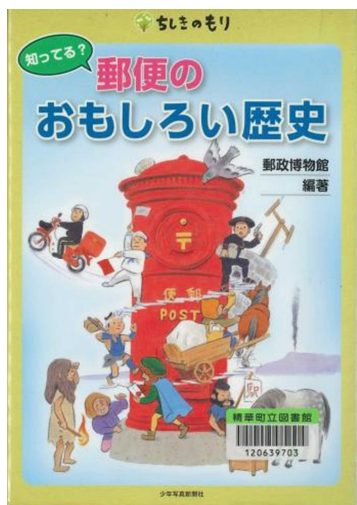
ゆうせいはいくぶつかん
郵政博物館 編著

少年写真新聞社

この本^{ほん}がある場所^{ばしょ}

… 692

(しらべもの)



郵便^{ゆうびん}の歴史^{れきし}と聞^きくと、郵便^{きよく}局^{きよく}の歴史^{おも}かな？と思うかもしれま

せんが、この本^{ほん}では、もっともっとはるか昔^{むかし}からの郵便^{てがみ}や手紙

にまつわる歴史^かが書^かかれています。手紙^{かみ}を書^かこうと思うと、紙^{かみ}が

いりますよね？ではその紙^{かみ}はどうやってうまれたの？そしてみんな

が知^しっている文字^{もじ}はいつからあるもの？昔^{むかし}はどうやって手紙

を届^{とど}けていたの？など、この1冊^{おし}でたくさんのことが学^{まな}べちゃ

う！ いろ^{いろ}んな人^{ひと}に郵便^{おし}の歴史^{れきし}を教^{おし}えてあげてね。

ゆうびんきょくいん
『郵便局員ねこ』

ゲイル・E・ヘイリー さく

ほるぷ出版

この本があるばしょ

… エホン2 ヘイ

(がいく えほん
外国の絵本)



ねこだらけのいなかの農場で生まれた、ねこのクレア。大きくなったクレアは自分のすみかをさがすため大都会のロンドンにやってきます。夏のあいだは公園にくる人にアイスクリームをもらったりと食べるものにはこまりませんでした。しかし、秋がすぎて冬になると公園にはだれも来なくなりました。クレアは家を探してあちこちの店を回りますが、どの店にももうねこがすんでいます。いつもはらぺこで仲間もないクレアでしたが、ある出来事がきっかけで、とうとう女王へいかにお仕えする郵便局員としてはたらくようになりました。お給料だってもらっています。クレアにどんなことがあったのかな。イギリスで本当にあったおはなしですよ。

かぎ ひみつ 『鍵の秘密』

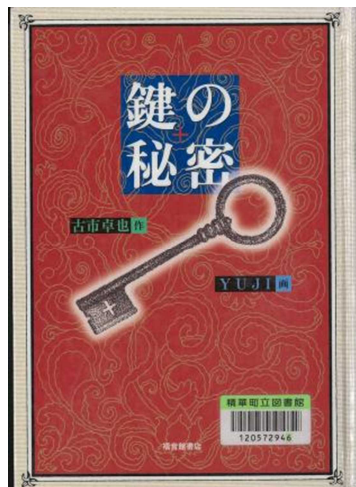
ふるいち たくや
古市 卓也 作

福音館書店

ほん ばしょ
この本がある場所

… **Fフル**

にほん
(日本のよみもの)



ある日、昇^ひの^{のぼる}家の^{いえ}ポストに^{てがみ}手紙^{かぎ}と^{はい}鍵^{べつ}が入っていた。手紙は別
世界^{せかい}の^{おうこく}王国^{おうじょ}の^{たす}王女^{もと}から^{にねんまえ}助け^{ゆくえふめい}を求めるもので、二年前から行方不明
になっている昇^{ちち}の^{かんけい}父^{しろ}も^{しょうがっこう}関係^{ひょうりい}しているらしい。王国^{ふしぎ}の^{つか}城^{しちょうかく}は昇^{じゅんぴつ}の^あ小学^{うらな}校^しと^へ表裏^や一体^りとな^かって^{じっけん}いて、不^ま思^{くら}議^{やみ}な^{おそ}鍵^{しはい}を^し使^{しんゆう}って^{なつき}視^{しはいしゃ}聴^{さぐ}覚^{さぐ}
準備^{じゅんぴつ}室^あを開^{うらな}けると^し占^へい^や師^りの^か部屋^{じっけん}だ^まつたり、理^{くら}科^{やみ}実^{おそ}験^{しはい}室^しは^{しんゆう}真^{なつき}っ^{しはいしゃ}暗^{さぐ}闇^{さぐ}
の^へ部屋^やに^{つつ}通^{りようほう}じて^いいた^きり^{する}。両^う方^ちの^{ほう}世界^いを行^きつたり^来たり^{している}している
うち、昇^{やみ}は^{おそ}王国^{しはい}が^し闇^{しんゆう}と^{なつき}恐^{しはいしゃ}れ^{さぐ}に^{さぐ}支^{さぐ}配^{さぐ}されて^{さぐ}いる^{さぐ}ことを^{さぐ}知^{さぐ}る。そ^{さぐ}こ^{さぐ}で、
親^{しんゆう}友^{なつき}の^{しはいしゃ}夏^{さぐ}樹^{さぐ}と^{さぐ}と^{さぐ}も^{さぐ}に^{さぐ}そ^{さぐ}の^{さぐ}支^{さぐ}配^{さぐ}者^{さぐ}を^{さぐ}探^{さぐ}って^{さぐ}い^{さぐ}く^{さぐ}の^{さぐ}だ^{さぐ}が^{さぐ}…。

主人公^{けいけん}が^{せいちょう}二^{ぼうけん}つ^{ぼうけん}の^{ぼうけん}世界^{ぼうけん}で^{ぼうけん}そ^{ぼうけん}れ^{ぼうけん}ぞ^{ぼうけん}れ^{ぼうけん}経^{ぼうけん}験^{ぼうけん}を^{ぼうけん}し^{ぼうけん}成^{ぼうけん}長^{ぼうけん}して^{ぼうけん}い^{ぼうけん}く^{ぼうけん}冒^{ぼうけん}険^{ぼうけん}ファ^{ぼうけん}ン^{ぼうけん}タ^{ぼうけん}ジ^{ぼうけん}ー^{ぼうけん}で^{ぼうけん}す。

『あしながおじさん』

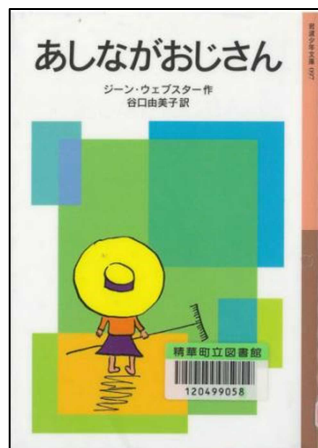
ジーン・ウェブスター 作

岩波書店

この本がある場所

… N ウエ

(^{がいこく}外国のよみもの)



18歳まで孤児院で過ごしたジュディ・アボット。後見人であるジョン・スミス氏の援助を受けて始まった大学生活は、彼女にとって初めてづくしの新しい世界でした。顔も知らない「あしながおじさん」ことスミス氏に宛ててジュディは手紙を書きます。唯一、自分を偽らずに胸の内を打ち明けられる「あしながおじさん」への手紙には、日々の生活で感じる喜びや驚き、裕福な友人と過ごすなかで生まれる葛藤、恋愛の悩みなどがあるのまに綴られます。おじさんからは一度も返事がないまま4年の月日が流れ、ジュディは大人の女性へと成長していきますが、果たして「あしながおじさん」に会える日は来るのでしょうか。

『お星^{ほし}さまをみつめて』

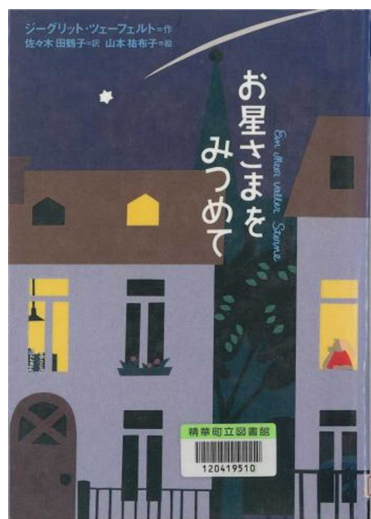
ジーグリット・ツェーフエルト 作

講談社

この本がある場所

… N ツエ

^{がいこく}
(外国のよみもの)



「ペンフレンドがほしい」と雑誌^{ざっし}に書いたカタリーナと、
それを見て返事^{へんじ}を書いたネーレは文通^{ぶんつう}を始めます。自分^{じぶん}や
家族^{かぞく}のことなどを手紙^{てがみ}に書いていくうちに二人は親しくな
っていきます。しかしある日^ひ、カタリーナに思いがけないこ
とが起^{おこ}こってしまい、それを知^しったネーレは…。いつでも明^{あか}
るく振^ふる舞^まい、おたがいを思い、支^さえ合^あう二人の手紙^{むね}に胸^{むね}
を打^うたれます。

ひょうか 『氷菓』

よねざわ ほのぶ
米澤 穂信 著

角川書店

この本がある場所

… YA Fヨネ

(ティーンズ)



「古典部に入りなさい」という姉からの手紙の通り、消滅寸前の
伝統ある古典部に入部することになった折木奉太郎。

「やらなくてもいいことなら、やらない。やらなければいけないこと
は手短かに」がモットーの省エネ男子の奉太郎と、「わたし、気になります」が口癖の、好奇心が炸裂しているお嬢様・千反田えるが集う
新入生だけの古典部では、文化祭にむけて文集を作ること。代々
受け継がれている文集名『氷菓』に込められた秘密とは？

日常に潜む謎を次々と解き明かしていく青春ミステリー・「古典部
シリーズ」の第1巻です。

『紙の心』

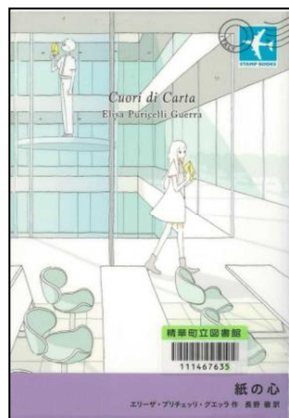
エリーザ・プリチェッリ・グエッラ 作

岩波書店

この本がある場所

… YA N グエ

(ティーンズ)



図書室の本にはさんであつた手紙。それを見つけて読んだ少年がその本に返事をはさんだことから、少年と少女の秘密の文通が始まりました。二人は相手の顔も知らないのですが、手紙の内容はだんだん情熱的になり恋に発展していきます。でも、学校の図書室が舞台かなと思って読んでいくと、薬とか治療とか研究所などという言葉が出てきて、さわやかな青春ラブストーリーのイメージは裏切られます。

すぐに連絡の取り合えるメールなどでなく、タイムラグのある手紙の時差がうまく作用し物語を運んでいます。家族や周りとの関係に問題のある少年少女たちを、手紙の文章だけで生き生きと描いた近未来冒険物語です。



4月23日

こども^{どくしょ}読書^ひの日

4月23日～5月12日

こども^{どくしょしゅうかん}読書週間

おはなし会

※くわしくは、チラシ、
HP などでおしらせ

毎月第2・3・4土曜日(月3回)

10:30~10:50

絵本や紙芝居などを読みます。10:30までに、
おはなしのへやの前にあつまってください。

おひざにだっこ

ちいちゃいちいちゃいおはなし会

毎月 第1水曜日(休館の場合は第2水曜日)

10:30~10:50

絵本や紙芝居、わらべうたなど、
親子で楽しめる乳幼児向けのおはなし会です。

せい かちょうりつとしょかん
編集:精華町立図書館

発行:令和6年4月

